

令和7年度 夏島小学校震災時避難所運営訓練

震災時避難所に避難者が集まってから、集団生活のための組織を立ち上げる訓練です
この訓練は、震災時避難所運営マニュアルに沿って行います

震災時避難所ってどんなところ？ ・震災で、住む場所を失った人が、協力し合い集団生活を送る場所
・自宅等で避難生活を送る人への物資・情報等の支援の拠点となる場所

避難してからどうする？ みなさんは、今、震災時避難所に避難してきました。
これから、集団生活をするための準備をしなければなりません。
何から始めますか？誰がやりますか？ 考えながら訓練に参加しましょう！！

第1訓練（まずは、体育館への避難）

なぜか？ ⇒ 混乱しています。屋内に入り落ち着きましょう！
助け合いがしやすいよう町内会・自治会でまとまりましょう！

- やること1: 体育館のカギを開ける ⇒ 防災収納庫の中から、体育館のカギ、マニュアル等を取り出す
- やること2: 体育館の安全確認 ⇒ 『避難場所安全確認表』で体育館の安全を確認 ※裏面参照
- やること3: 体育館へ避難 ⇒ 町内会・自治会ごとに指定の場所に集まる ※裏面参照

第2訓練（次に、被害状況の把握）

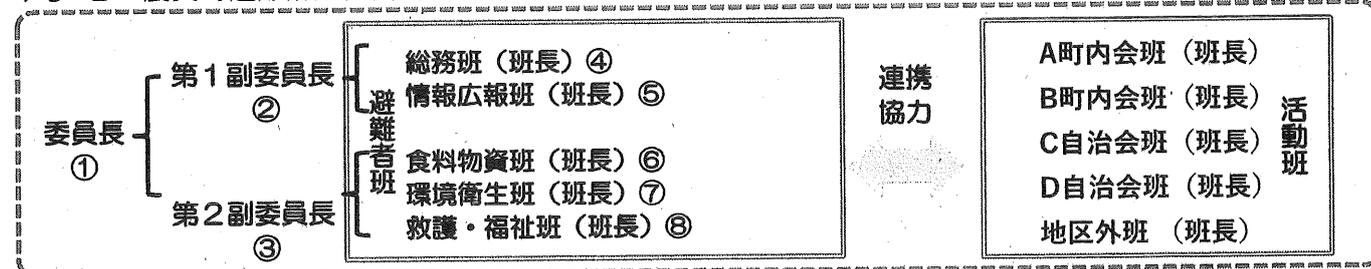
なぜか？ ⇒ 震災時避難所を開設したことや被害状況（避難者の人数、地域の道路被害等）を、
市の災害対策本部へ伝えないと、避難所への支援が来ない！

- やること1: 『情報収集連絡票』の記入 ⇒ 各町内会・自治会の暫定リーダーが被害状況を記入 ※裏面参照
- やること2: 校長先生への報告 ⇒ 被害状況を校長先生へ伝え、校長先生から横須賀市の災害対策本部へ被害状況を報告
- やること3: 避難者班の編成 ⇒ 町内会・自治会単位で生活を支えあうグループ（避難者班）を編成
- やること4: 『避難者カード』の記入 ⇒ 避難者の世帯ごとに避難者カードを記入 ※裏面参照

第3訓練（しばらくしたら、集団生活のための組織を立ち上げる）

なぜか？ ⇒ 震災時避難所を運営していくため、役割分担を明確にする。

- やること1: 震災時避難所運営委員会の役員選任 ⇒ 各避難者班の班長が集まり、8名の役員を選任
- やること2: 震災時避難所運営委員会の編成 ⇒ 各避難者班から、各活動班の班員を選任し、編成

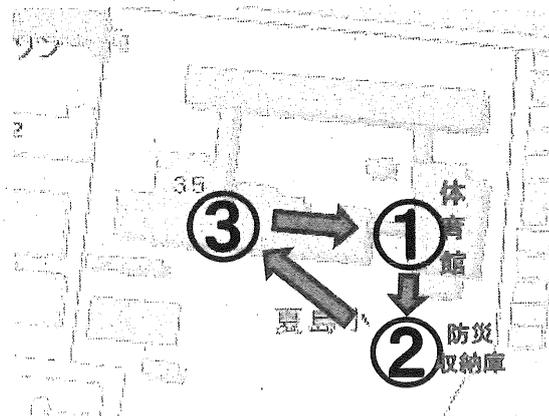


★活動班訓練（避難所で、集団生活するために必要な訓練）

※A・B・Cの3つのグループに分かれて各ブースを15～20分ずつ回る。

- ① 災害時のごみの捨て方 【体育館前】
- ② 資機材の取り扱い 【防災収納庫前】
- ③ 開放区域の確認 【校舎内】

- Aグループ（ ）：① → ② → ③
- Bグループ（ ）：② → ③ → ①
- Cグループ（ ）：③ → ① → ②



震災時に重要なこと！

自助

- ・助けられる人にならない、助ける人になることが大事
- ・シェイクアウト（安全確保行動）
- ・非常用持ち出し袋（最低1日分の食料、薬、お金など）
- ・ブレーカー遮断（通電火災を防ぐために）等



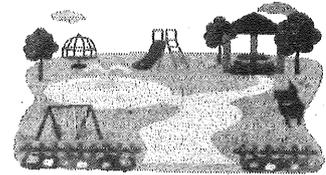
共助

- ・近所の人（各町内会・自治会）どうしの助け合いが大切
- ・地域の防災活動の拠点、地域の一時避難地です。

⇒助けが必要な人も、助けに協力できる人も一時避難地に集まれば、効果的に防災活動が進みます。

※一時避難地は、各町内会・自治会で決めています。

一時避難地



震災時避難所運営訓練のポイント！

『避難場所安全確認表』ってなに？

避難する体育館は安全かどうか確認しなければなりません。

体育館が傾いていないか、柱にひびがないか、天井や照明が落下していないか、などです。

『避難場所安全確認表』のチェック表に基づいて安全確認をします。

『情報収集連絡票』ってなに？

町内会・自治会の代表者が、被害状況を記入するものです。

避難者数、負傷者数、要援護者数をはじめ、震災時避難所へ避難するあいだに目にした火災、倒壊家屋、がけ崩れの件数などを記入します。

町内会・自治会ごとの被害情報を集めて、震災時避難所の被害状況の速報値として横須賀市の災害対策本部へ伝達します。

そうすると、横須賀市の災害対策本部は、この避難所に対する支援の方針を決定します。

『避難者カード』ってなに？

この避難所で生活する方の住所、名前、年齢、性別等を世帯ごとに記入してもらうものです。

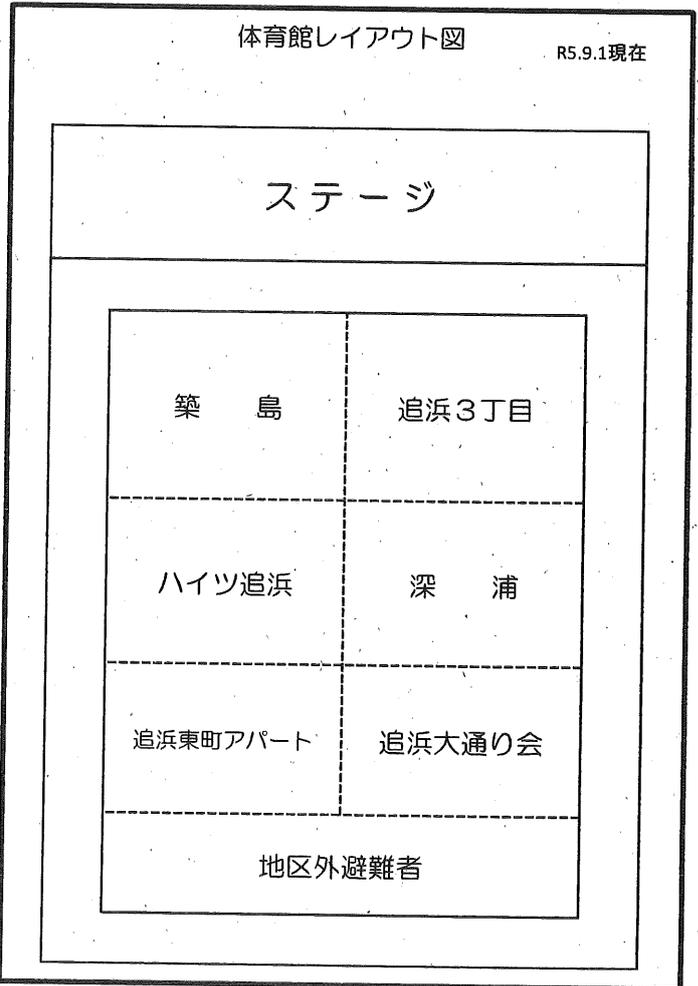
この避難所で生活している避難者の情報を管理して、他からの安否確認の問い合わせや郵便の対応などに活用します。

自分の町内会、自治会はどこに集まる？

町内会・自治会ごとに集まる場所が決まっています。震災時避難所での助け合いの基本は、町内会・自治会単位となります。

体育館レイアウト図

R5.9.1現在



避難所から発生するごみの出し方について

○ 避難所で発生する「生活ごみ」の出し方

- ごみの収集は、原則、大規模災害の発生後4日目以降から開始します。まずは、「燃せるごみ(携帯トイレ、生ごみ、紙おむつ、衛生用品等)」を優先して収集いたします。
- 優先する燃せるごみ(携帯トイレ、生ごみ等)の収集日については、避難所が該当する地区の「燃せるごみ」の収集日となります。
- 避難所では、一定の期間、大勢の方が生活されるため、多量の生活ごみが発生することが想定されます。その際も、分別してごみ出ししていただきますようお願いいたします。
- 具体的に、避難所のごみ置き場では、次のように置き場を分けて、ごみ出しをお願いいたします。

1 携帯トイレ	発災4日目以降からの優先収集対象
2 生ごみ、紙おむつ、衛生用品	発災4日目以降からの優先収集対象
3 1・2以外の燃せるごみ	紙、紙パック、布類、ゴム製品等
4 プラスチック資源	かさばるのでコンパクトにする
5 缶・びん・ペットボトル	飲み残しがないように、空にする
6 不燃ごみ	—
7 ダンボール	物資梱包で多量に発生することを想定

- 携帯トイレと生ごみ等を分けて置く理由は、凝固剤による汚物の凝固が不十分な場合、収集場所を汚してしまう恐れがあります。生ごみ等と置き場を分けていただきますようお願いいたします。
- ごみ置き場に上記7つのごみを置く場所を示す貼り紙を用意しますので、ご活用ください。
- 「燃せるごみ(携帯トイレ、生ごみ、紙おむつ、衛生用品等)」以外の収集については、災害からの復旧の具合により、順次、平常のごみ収集に戻していくこととなります。

横須賀市(環境部)からのお願い

地震など

「在宅避難」時の
生活ごみの出し方

大規模災害時のごみの出し方

「トイレ」は裏面へ⇒

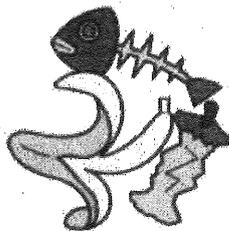
大規模災害時は「生活ごみ」と「災害ごみ」を分けて、指定のところへ出してください。

○生活ごみ(日常生活から発生するごみ)

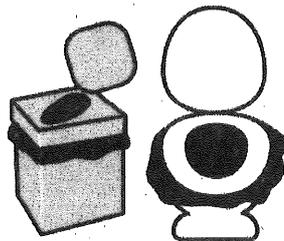
発災後、3日間はごみが出せません。4日目以降から燃せるごみ(生ごみ、携帯トイレ、紙おむつ、衛生用品など)を優先的に収集します。

日ごろ利用しているごみ集積所に出してください。

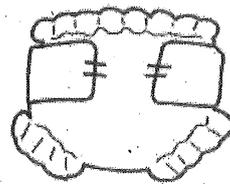
～4日目から出せるごみ～



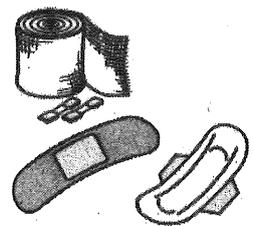
生ごみ



携帯トイレ



紙おむつ



衛生用品

○災害ごみ(災害により発生するごみ)

開設する仮置場に持ち込んでください。

※持ち込む場所や開始日は別途お知らせします。

道路などに放置しないでください。

※持ち込むときは分別をお願いします。

※生活ごみは持ち込めません。

お問い合わせ先:横須賀市環境部廃棄物対策課 家庭系廃棄物係

電話:046-822-8469

横須賀市(環境部)からのお願い

地震など

大規模災害時のトイレについて

「ごみ」は裏面へ⇒

平時から携帯トイレの備蓄をお願いします。
(1人あたり3~5袋×7日分程度)

まず、トイレに水を流して汚水が流れるか確認してください。

敷地や道路に汚水があふれないか確認してください。集合住宅の場合は、下階のお宅への配慮も必要です。

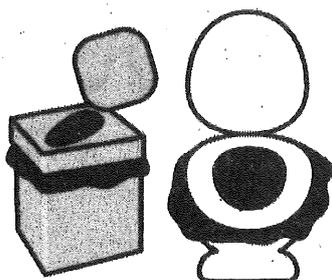
○トイレが使用できるとき

下水管が流れにくい場合があるため、紙は流さず袋に入れて「燃せるごみ」へ。

○トイレが使用できないとき

携帯トイレを使用してください。

使用済みの携帯トイレは袋に入れて、「燃せるごみ」へ。



・携帯トイレがないときは…
身近な素材で簡易トイレが作れます

- ①トイレ・バケツ・箱などにポリ袋を2重でかぶせる
- ②袋の中に、細かくした新聞紙を適量入れて、できあがり
- ③用を足したあとは、袋をしばって「燃せるごみ」へ

お問い合わせ先:横須賀市環境部廃棄物対策課 浄化槽係

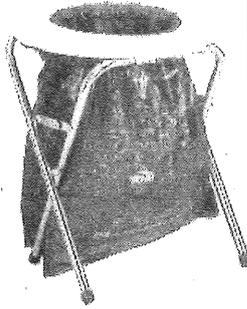
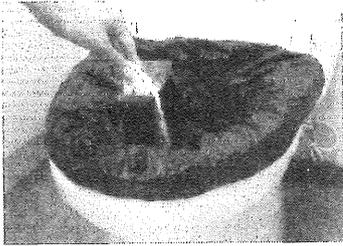
電話:046-822-8458

震災時避難所における災害用トイレについて

～トイレの使用優先順位とその特性～

優先順位①

携帯トイレ



名称「商品名」	災害用携帯トイレ「マイルット」 簡易便座「ポータブルジョン」
設置時期	発災直後～
備蓄数	凝固剤10,500個(防災収納庫3,000個、防災備蓄倉庫7,500個) 簡易便座(ポータブルジョン)4基
構造・使用方法等	①既存の洋式トイレや簡易便座に排便袋を被せる ②用を足したのち、凝固剤でゲル状に固める ③排便袋を閉じ、可燃物として処分が可能

優先順位②

組み立てトイレ



名称「商品名」	組み立てトイレ「ベンクイック」、「ドント・コイ」 ※「ベンクイック」、「ドント・コイ」は、どちらか1種類を備蓄
設置時期	発災後～携帯トイレが無くなるまでの間
備蓄数	「ベンクイック」 和式3基、男性小用1基 (和式1基に約8,000回以上使用可能) 「ドント・コイ」 和式3基、洋式2基 (和式1基に9,000回以上、洋式1基に約5,500回以上使用可能)
構造・使用方法等	①し尿は、下部の便槽に貯蔵 ②固液分離装置で分解・消毒された濁水は外部に排出 ③下水復旧後は、希釈し放流、またはバキューム車で汲み取り

優先順位③

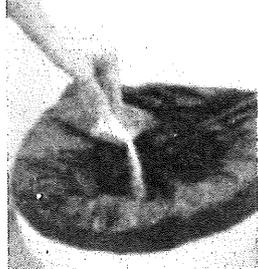
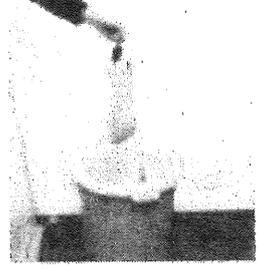
マンホールトイレ



名称「商品名」	マンホールトイレ「エペットさん」
設置時期	仮設トイレの支援が届かず、 携帯トイレ・組み立てトイレ共に使用不能の場合
備蓄数	和式2基から5基、和式に設置する洋式便座2基
構造・使用方法等	◆原則、上下水道局により下水配管点検後に使用 ①通行等に支障とならない径600mmの汚水マンホール上に設置 ②し尿は生活排水等と共に下水配管で排出 ※下水配管が破損していると、マンホール内に便が滞留の恐れあり

携帯トイレ 使用方法

使用方法

①	既存洋式トイレの便座に、まずはカバー用にビニール袋1枚セットする。 (便器に溜まっている水で排便袋が濡れないようにする)	
②	排便の際には、カバー用のビニール袋の上に排便袋をセットし、用を足す。	
③	用を足した後に抗菌性凝固剤をふりかける。 (しばらくすると固まる。) また、使用したトイレトペーパーも、この排便袋に入れる。	
④	排便が凝固したら排便袋を便座からはずし、しっかり結び可燃ゴミとして処分する。	

内容物

① 抗菌性凝固剤

成人1回の排泄(平均200~300ml)を抗菌および消臭効果で処理が可能

② 排便袋 (カバー用袋) 【黒色】

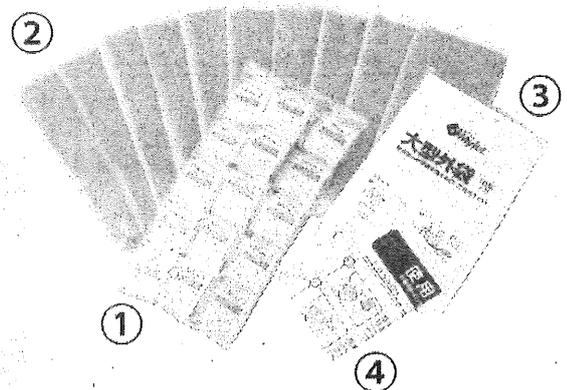
洋式トイレの便器口を被せる事が可能な袋口で、処理後の排泄物を透かささない黒色の袋 (カバー用袋としても利用)

③ 大型外袋 【白色】

使用済みの排便袋を捨てる大きい袋で、1枚の大型外袋に処理後の排便袋は約25個を入れることが可能

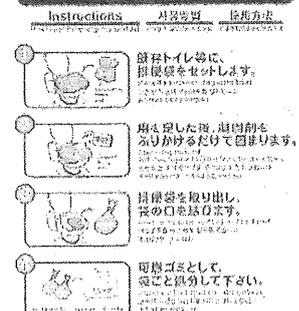
④ 使用方法ポスター

マイルットの使用方法が4か国語(日本語、英語、中国語、韓国語)で記載



使用方法

携帯トイレの使い方



© 2010 Milett. All rights reserved. Milett is a registered trademark of Milett Co., Ltd. Milett is a registered trademark of Milett Co., Ltd. Milett is a registered trademark of Milett Co., Ltd.

震災時避難所における発電機について

※ 各震災時避難所の防災収納庫には、「カセットガス式」の発電機を2基備蓄しています。

1 特徴

- ① 扱いやすく入手しやすい「カセットボンベ」が燃料となり、稼働する。
⇒ガソリンと比べて劣化に強く、長期保管（概ね7～8年）が可能。
- ② 低温時に気化しにくいカセットガスでも、機械独自の供給方法により、広い温度範囲での使用が可能。【使用温度範囲：5℃～40℃】
- ③ 長い距離の移動に心強い、折りたたみ式のハンドルと大型車輪を装備。
- ④ エンジンの回転数を減らす（＝出力を下げる）エコスロットルが搭載され、運転時間が向上。
⇒エコスロットル作動時は、最大約2.2時間の連続運転が可能。

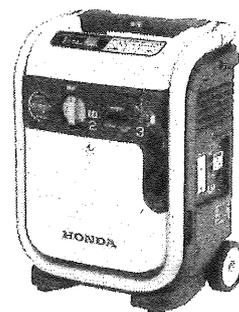
※カセットボンベ2本使用

連続運転時間：
最大約2.2時間

2 備蓄・保管

※寒冷地用のカセットボンベも備蓄（うち20本）

- ① 各震災時避難所に発電機2基、カセットボンベ40本を備蓄。
⇒数に限りがあるため、原則、夜間の照明用として利用する。
- ② 保管の際は、配管内の残留ガスを使い切る。
⇒使用後、カセットボンベを取り出した状態で停止するまで運転させる。



3 関連機器

- ① LED投光器
⇒各震災時避難所に8基（50W：2基、10W：6基）備蓄。
50Wは体育館、10Wはトイレ・教室等の照明として利用する。
- ② 三脚（LED投光器用）
⇒各震災時避難所に8脚備蓄。LED投光器とセットで利用する。
- ③ コードリール
⇒各震災時避難所に4個備蓄。発電機とLED投光器を接続する。



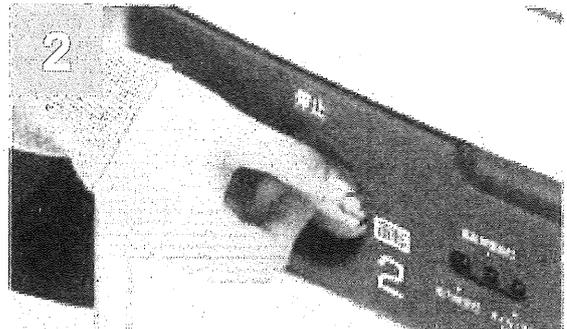
発電機から出る排気ガスに注意！！
屋内での使用は絶対にしないでください

発電機 使用方法

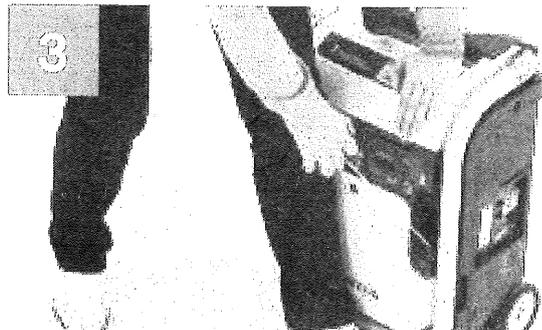
使用方法



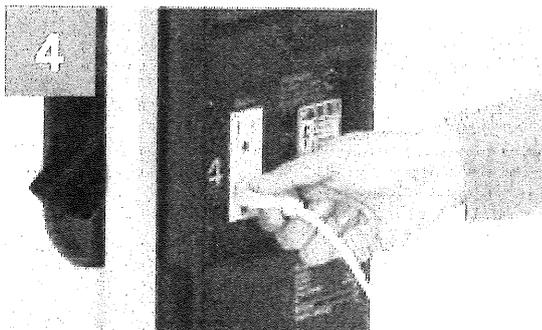
1. カセットボンベ2本を装てん
 ※切り込み口を下向きに入れ、固定する
 ※必ず2本同時に入れる（1本が空でも可）



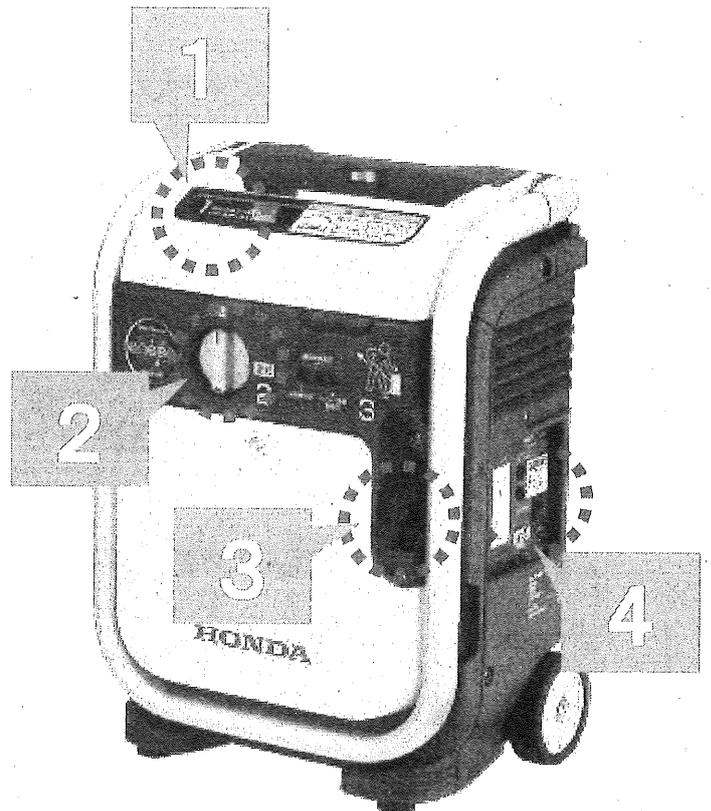
2. スイッチを「運転」にあわせる



3. グリップを引き、エンジン始動
 ※後方に注意する（怪我の防止）



4. コンセントを挿す
 ※必要に応じてエコスロットルを作動



発電機の概要



524mm*

365mm

262mm*

※ハンドル折りたたみ時

機種名

ホンダ(Honda)発電機
 エネポ EU9iGB

質量

乾燥質量：19.5 kg

出力

通常：900 VA
 エコ※：225 VA

寸法

全高：524 mm
 全長：365 mm
 全幅：262 mm

運転時間 (連続運転可能時間)

通常：約1.1時間
 エコ※：約2.2時間

エンジンオイル

規定量：0.25 L
 交換時期：6か月に1回
 ※各震災時避難所の発電機は、
 危機管理課が交換作業を実施

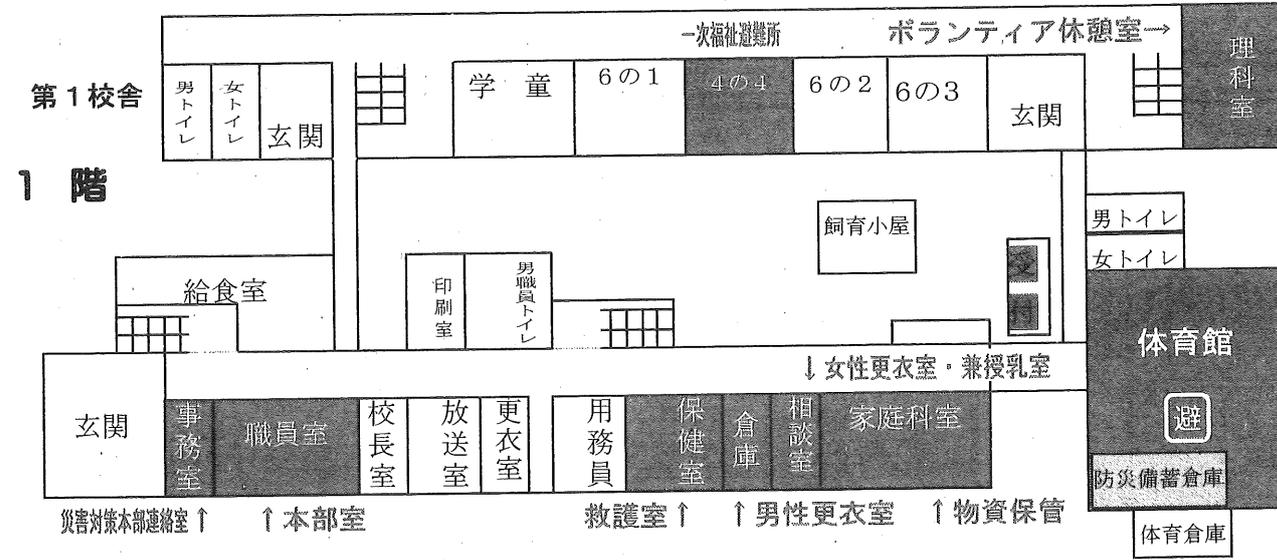
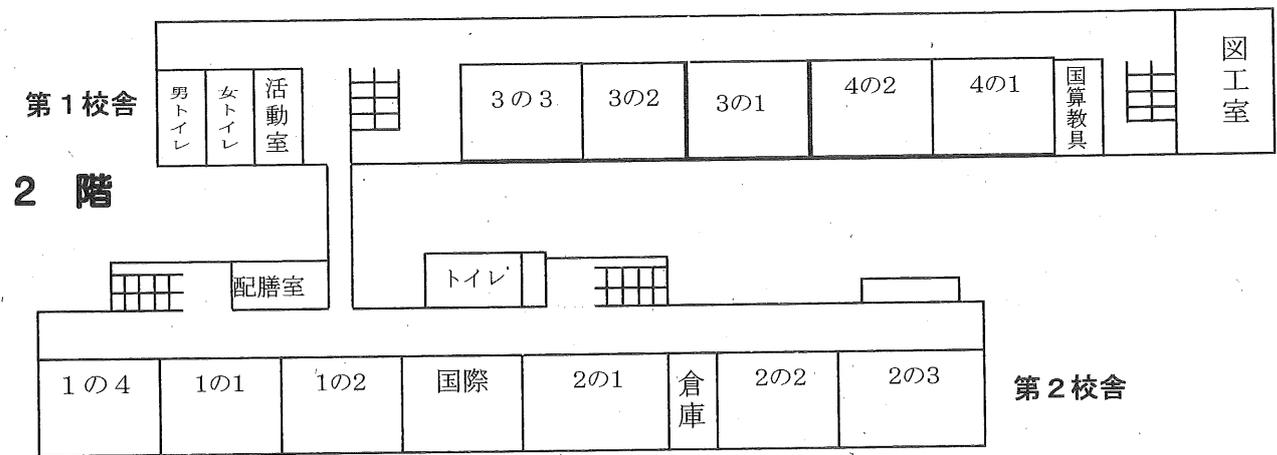
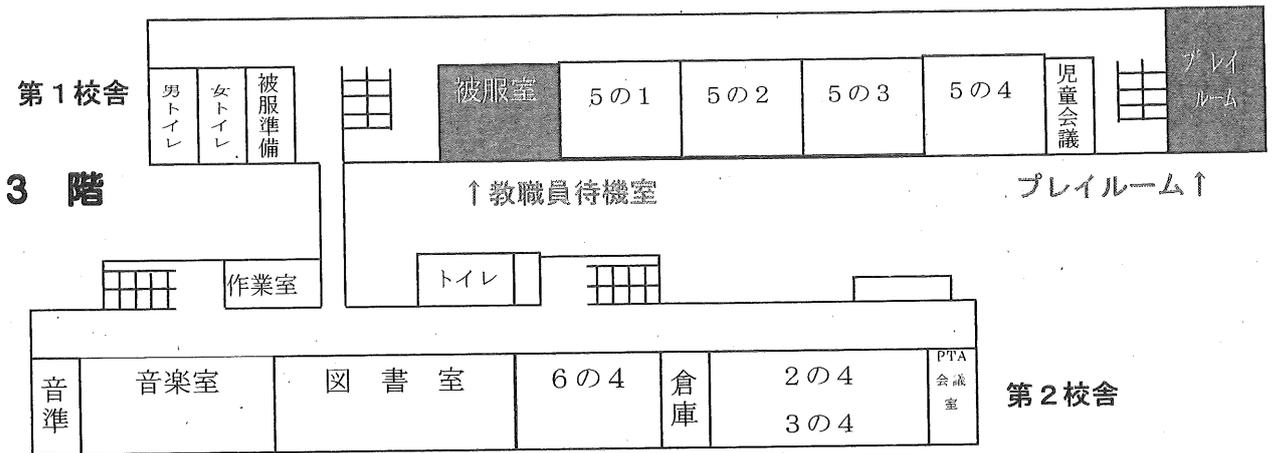
価格

メーカー希望小売価格
 121,000円 (税込)

※エコ=エコスロットル作動時

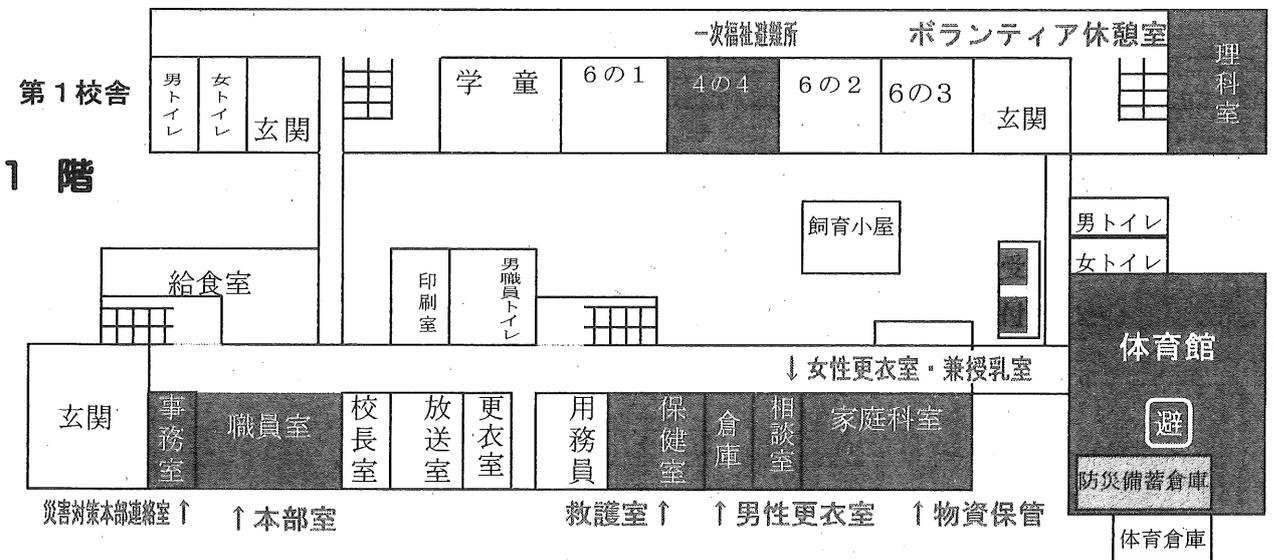
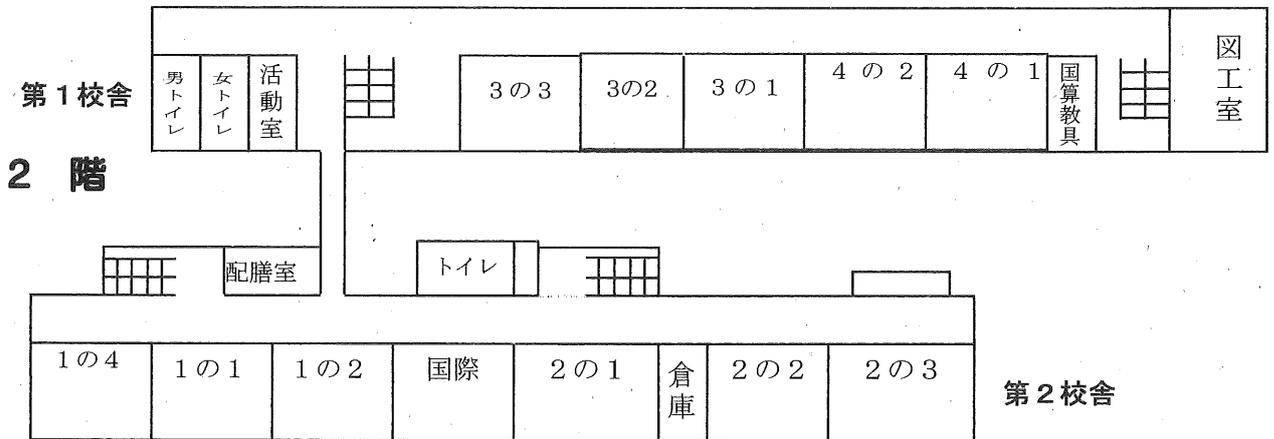
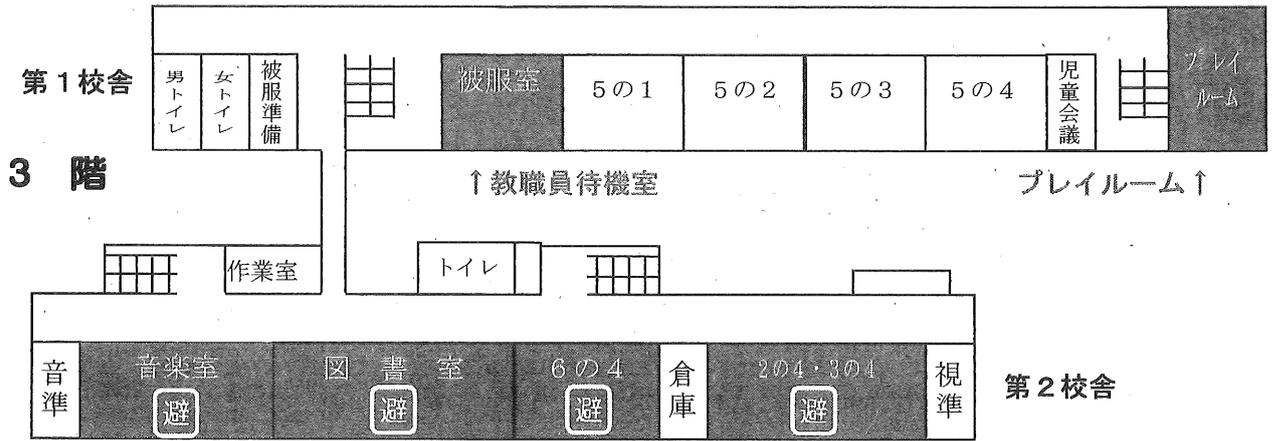
基本開放区域レイアウト図 (夏島小学校)

2025年4月作成



避 は避難者居住スペース

最大開放区域レイアウト図 (夏島小学校) 2025年4月作成



は避難者居住スペース